

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



小樽商科大学

学園だより

小樽商科大学広報誌

vol.185

2019 SPRING

小樽商大
フォトコンテスト
入賞作品



● CONTENTS ●

学長挨拶	1
緑丘会理事長挨拶	2
侍ジャパン強化合宿	3
生協でのコーヒーマシン設置事業	3
飲酒について	4

留学生インタビュー	4
何でも相談室・特別修学支援室・ピアサポート	5
グリーンヒルプロジェクト	6
夜桜ライトアップ	7
寄付金による事業について	7

(題字は和田健夫 学長)



ご入学 おめでとうございます

新入生諸君、ご入学おめでとうございます。教職員一同心よりお祝い申し上げます。

社会は、日々の生活のなかで蓄積される経験とそこから生み出される知恵や技術によって成り立っています。知恵や技術は人々に便利さ、富、幸福をもたらしてくれました。人々は、時には憎しみ合い、争い、大きな不幸に出会いながらも、知恵や技術の力でそれを乗り越えて何百年も生きてきました。

現代は、世界中の人、モノ、情報が容易に行き交い影響し合うグローバル化の時代です。われわれの生活は、常に地球的な規模のなかで営まれているのです。さらにインターネットがあらゆるものを結びつけ、日々集積されるビッグデータを人工知能（AI）が分析し、人々の嗜好、行動、経済動向などを判断・予測するデジタル化が進行しています。多くの仕事・職業がAIに取って替われ、新たなビジネスが次々と生み出されています。これは、社会のありかたを根本的に変えるかもしれません。

予測不可能な時代を生き抜くためには、変化に柔軟に対応できなければなりません。大学では、新しい知識・技能を学び、広い視野を身につけるとともに、新しいことにチャレンジする心、常に学び続ける意欲を失わないことが重要です。

小樽商科大学は、「幅広いスキルを持ちながら同時に一カ所を深く掘り下げる『T型人材』の育成」をモットーにしてきました。それらの知識を使い、他者と協働して課題に向かう意欲・力を育てること（実学教育）にも力を入れてきました。さらに、グローバルな視野のもとで、ローカル＝地域の視点から行動できる人材（「グローバル人材」）の育成を目指して改革を進めています。たとえば、本学OBからの寄付金を基に返還の義務がない給付型の奨学金制度（佐野力海外留学奨励金）を創設しました。1年次学生を中心に海外留学を支援しています。多くのみなさんに利用してもらいたいと思います。

現在、三年後をめどに、帯広畜産大学、北見工業大学との間で進めている連携もこのような改革の一つです。三大学はこれまでどおり存続しつつ、文系・理系の枠を超えて教育研究で連携を深めていこうとするものです。

小樽商科大学は、みなさんが成長するために必要な最大限の支援をします。学生生活を有意義に過ごしてください。

小樽商科大学長
和田 健夫

A handwritten signature in black ink, reading '和田 健夫' (Wada Kenji).

小樽商科大学新入学生に 対するメッセージ

新入生の皆さん、小樽商科大学への入学おめでとうございます。同窓生を代表して心よりお祝い申し上げます。私は卒業して半世紀になりますが、毎年4月を迎えますと皆さんと同じように希望に胸を膨らませて入学式に臨んだことが昨日のように思い出されます。商大は小樽の街と一体化し、昔も今も街の「商大」として親しまれています。国立大学では唯一の社会科学系単科大学で、小規模ではありますが、創立以来100余年にわたりグローバルな人材を北海道はもとより全国に送り出してきました。国際的な場で活躍しているOB・OGも少なくありません。商大の「実学」「語学」「品格」を重視した教育は、本学における教育の基本であり特徴でもあります。他の社会系大学と比べて商大が誇れる強みは何でしょうか？

例を挙げれば、

- ① 女性の一層の活躍が期待される今日において、女子学生が4割以上を占めている
- ② ベンチャーや起業・創業を後押しする大学院・アントレプレナーシップ専攻がある
- ③ ゼミやクラブ活動が活発で充実しており、それらを通して生涯の友との出会いがある
- ④ 留学生との交流や充実した海外留学制度を活用して多様性や国際性を学ぶ機会が多い

などがあります。

大学で何を学び、何を心得て巣立っていくのか、皆さんはどのようなプランを持っていますか？

先輩からの助言です。

第一に、学問を修めることはもちろんのこととして、皆さんには国際的視点を持ち、日本国内はもとより国際的な動向にも強い関心を持って欲しいということです。最近では道内での就職を希望する方が増えているようですが、北海道の産業や経済の発展には、今まで以上に国際的な繋がりが必要です。道内で職を求める場合であってもグローバルな視点が不可欠な時代になっています。

第二は、緑丘での4年間に、勉学に加えて、これはという経験を積んで欲しいということです。スポーツでも文化的なことでも良いのです。夢中になって打ち込んだ経験が社会に出てから大きな自信になるはずですよ。

商大には、小規模な単科大学だからこそ育まれてきた「学生、教職員、卒業生の強い一体感」があります。この緑丘で培われた強い絆が社会に出た後も続き、それが皆さんの財産となるはずですよ。

皆さんは今、真っ白なキャンパスの前に立っています。有意義な4年間を過ごし、自分自身の絵を思いっきり描いてください。



公益社団法人 緑丘会
理事長 島崎 憲明



小樽商科大学同窓会 緑丘会について

小樽商科大学の同窓会である「公益社団法人緑丘会」は、1939年（昭和14年）に法人化され、本部を東京・池袋サンシャイン60ビル・57階に置き、全国に23の支部、会員4,500名余を擁しています。公益財団法人小樽商科大学後援会ともども母校の基盤向上のために、年間2千万円以上の規模で助成事業を行っております。

主な助成事業は次の通りです。

- ① 学生の社会人基礎力養成、就業力育成に関する普及、啓発を目的とした「キャリア形成支援企業セミナー」の主催
- ② 正課教育である「エバーグリーン講座」の運営支援
- ③ 国際的な視野に立つ人材育成を目的とした奨学金給付及びTOEICの受験費用補助
- ④ 就職支援として就職アドバイザーの設置と就職活動資金の貸与等
- ⑤ 留学生の支援

侍ジャパン強化合宿> インタビュー

小樽商大初選出



「侍ジャパン大学代表」候補強化合宿の参加メンバーに選出され、12月1日～3日に行われた合宿に参加した硬式野球部中山智隆さんにインタビュー！



強化合宿のメンバーに選ばれた時の感想は？

日本代表候補というのは自分にとって遠い存在だったので、まさか自分が選ばれるとは思っていませんでした。正直驚きました。

合宿に参加してみてどうでした？

全国のレベルの高い選手と野球をできたことは非常に良い経験になりましたし、なにより楽しかったです。他の大学の選手とたくさん交流することができ、良い刺激を受けることもできましたし、自分やチームに何が足りないのかなど学ぶところが多くありました。

今後の目標は？

チームとしては二部リーグ優勝、一部昇格が目標です。個人としてはチームの勝利に貢献できるように活躍すること。そして、高いレベルでも通用する選手になることが今後の目標です。

…………… ネスレ日本×三井物産×近藤ゼミ 共同マーケティング研究…………… 生協でのコーヒーサーバー設置事業



当研究は、「若者のコーヒー離れが著しい現代日本において、対象へのネスレのプレゼンスを高めたい。」というネスレ日本の思いと、「大学で学んだマーケティング理論を実際の現場で活用したい。」という私達近藤ゼミ生の思いを、三井物産が「商社ビジネス」として仲介し実現しました。大学生にコーヒー、特にネスレを広めるという目標の元、私達がまず行ったことは、「ネスレコーヒーの無料試飲会」と「学内生協でのネスレカプセルの販売」の2点でした。前者を開催した理由は、大学生には馴染みのないネスレというブランドを広め、同ブランドの提供するコーヒーマシンの性能を訴求するためです。後者については、試飲会で回収したアンケートを元に販売方法（価格や味、展開場所など）を考案し、開始しました。これらをマーケティングのフレームワーク「AIDMA」に当てはめて実践し、顧客行動の変化を現在進行形で調査しています。今後は販売データやアンケート結果、実際の販売員の声などを参考にして新たな施策を打ち出したいと思っています。



危険な飲酒を防ぐために.....

2012年、本学で飲酒事故があり一人の若く貴重な命が失われてしまいました。私たちはそのことを深く心に刻まなくてはなりません。飲酒による事故を防ぐために、未成年飲酒や飲酒運転、飲酒の強要などの行為に対しては毅然とした態度で＜NO＞を表明し、自分自身と周囲の人たちの未来を守ってください。

未成年者は飲まない、未成年者に飲ませない

こんな危険性が

- 身体への影響：脳の機能低下や性腺機能障害を起こしたり、アルコール依存症が短期間で発症します
- 事故・事件のリスク：交通事故、転倒・転落、溺水のような事故にあったり、暴力行為などの犯罪に巻き込まれることもあります

STOP！アルコールハラスメントーしない・させないー

飲酒の強要や飲まない人を侮辱することは人権侵害です。命を奪うこともあります。次のような行為は全てアルコールハラスメントです。絶対にしない・させないようにしましょう。

- 飲酒の強要：上下関係・部やサークルの伝統によるはやし立てなど心理的圧力をかけて飲ませること
- イッキ飲ませ：一気のみ、早飲みをさせること
- 意図的な酔いつぶし：酔いつぶすことを意図して飲み会を行うこと、傷害行為にあたる
- 飲めない（飲まない）人への：本人の体質や意向を無視して飲酒を勧める、飲まないことをからかう、侮辱すること、アルコール以外の飲み物を準備しないこと
- 酔ったうえでの迷惑行為：酔って絡む、悪ふざけ、暴言・暴力、セクハラその他のひんしゅくを買う行為

当センターでは「アルコールパッチテスト」とアルコールに関するDVDの放映を6月中旬頃に開催する予定です（詳細は後日掲示等でお知らせいたします）。みなさんのご参加をお待ちしています。

留学生インタビュー！

ハワイ大学に留学していた片倉玄太くんにお話を聞いてみたよ！



1. お名前をどうぞ

1年生の片倉玄太です。

2. どこに留学していましたか？

ハワイのハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジです。

3. 大学の感想をどうぞ

良いところです。気温は高く日差しも強いけど、湿度が低くてカラッとしていてとても過ごしやすい気候でした。世間でよく聞く「ハワイに魅せられる」という感覚がわかる気がします。（笑）

4. どんな大学ですか？

ダイヤモンドヘッドの麓にあるキャンパスは緑が多く、ハワイの景色にマッチする綺麗なキャンパスです。授業の前には、キャンパスを歩いて体をすっきりさせて授業に臨むことが出来ます。授業は20～30人ほどの学生で行われ、アジア人、白人、ハワイアンなど様々なルーツを持つ学生たちと授業を



受けました。単位数ごとに授業料を支払っているため（合格できないと単位数によって1授業当たり約10～25万円の授業料を無駄にすることになります）、学生は授業に対する意



識は高く、積極的に授業内容を理解しようとする環境で、自分もそうした環境の中で日々刺激を受けながら学ぶことができました。

5. 普段はどんな生活をしていますか？

全ての授業が英語で行われるので、常にストレスがかかっている状態で、授業外での勉強の量が必然的に増えましたが、平日に頑張って勉強して休日は友達と出掛けたりしていました。スノーケリングやハイキングに行ってハワイの自然を満喫しました。授業以外でも英語を使ったので必然的に英語力は伸びたと思います。



6. 留学したいと思っている他の学生へ一言どうぞ

留学する理由は人それぞれですが、自分の行動の幅を広げれば、見える景色、得られる経験、人脈の幅も広がります。留学は自分の経験とこれからの可能性を広げる一番有効な手段の一つだと思います。

学生何でも相談室・特別修学支援室・ピアサポート

困ってる事・悩んでる事があったらどうしたらいいの？

学生何でも相談室

大学生活を送る上で皆さんの困っている事や心の悩みについて、本学の心理学教員と経験豊富な臨床心理士が相談に応じています。

悩みをどこに相談すべきか分からない時などにも、まずは気軽に相談に来てみてください。

<相談例>

- 大学生活になじめない
- 自分は発達障がいなのではないかと思う
- 自分のあり方や性格について考えたい
- サークル・ゼミなどでの人間関係に悩んでる
- 勉強への意欲や目的意識がもてない
- 卒業後にやりたいことが見つからない、等々



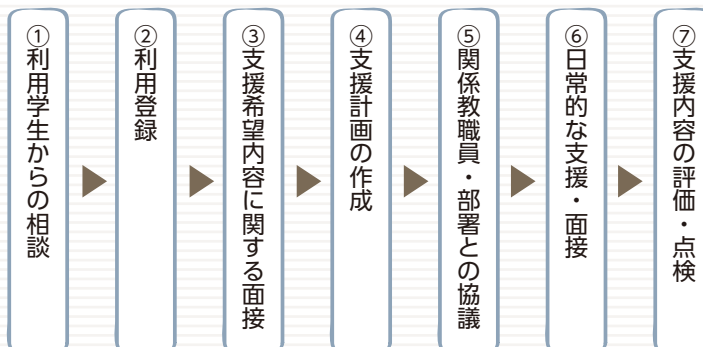
また悩みだけでなく、大学生活をより充実させるための相談も可能です。

直接来ていただくことも可能ですが、予約者優先となりますので、できるだけ事前に電話・メールでの予約をお勧めします。なお、相談については守秘義務がありますので、相談者の承諾なく、個人情報が外部に報告されるようなことはありません。

特別修学支援室

障がいのある学生については、入学前・入学直後から相談に対応し、必要な情報提供を行います。支援内容の決定にあたっては、障がいの内容と学生の成長を踏まえながら各部署と協議を行います。

障がいの有無が明確ではない場合であっても面談を行い、その学生が自身の「困り感」と向き合えるような必要な支援を行いますので、まずは相談してみてください。



ピアサポート

ピアサポートとは、学生によって行われる学生への支援のことです。

学生が相談にのるため、心理的な壁のない近い距離で向き合え、教職員には相談しにくいことも気軽に話し合えます。

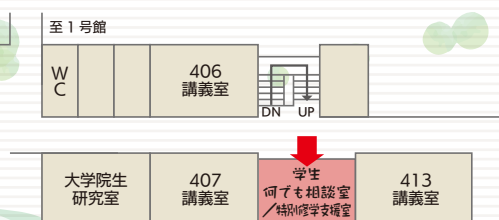
ピアサポートルームでは、お悩み相談から勉強や食事の場所としての活用まで、様々な利用ができる場所として開放しています。様々なイベントも実施していますので、どなたでもぜひご利用ください。

● 学生何でも相談室・特別修学支援室

(3号館4階)

電話：0134-27-5241

メール：soudan@office.otaru-uc.ac.jp



● ピアサポートルーム

(3号館1階)



Twitter
QRコード



What's

「グリーンヒルプロジェクト」

「小樽商科大学グリーンヒル（学生支援）プロジェクト」は、教職員の目からは気がつかない学生の独創的な提案と実行を期待し、地域社会における学生の課外活動を支援するための助成制度です。平成30年度はこの助成制度を利用し、4つのプロジェクトが実施されました。今回は、そのうち2つのプロジェクトを紹介します。



国際交流サークル主催

国際交流パーティー開催！

10月に国際交流サークル主催で国際交流パーティーを開催しました。開催の目的が普段なかなか交流する機会がない商大の学生と地域の方々との交流の場を提供するということで、パーティーには商大の学生や留学生だけでなく地域の方々にも多数参加していただきました。

内容は留学生のお国自慢のプレゼンテーションや仮装コンテストなど盛りだくさんで、子どもから大人まで軽食を片手に交流を楽しんでいる様子でした。お国自慢プレゼンでは、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、スペイン、ドイツ、中国の留学生によってそれぞれ工夫を凝らしたプレゼンが行われました。仮装コンテストでは、今年はグループで参加する出場者も多く見られました。投票はパーティーの参加者によって行われ、コンテスト出場者だけではなく観客も一緒に楽しんでいました。

パーティーでは学内外、年齢問わず交流を楽しんでいる様子が多く見られました。私たち国際交流サークルではこのパーティーのように留学生と学生、地域の方々がたくさん交流できる場をどんどん提供していきたいと思います。



小樽笑店主催

「たるわランド2018冬～ようこそ！クリスマスZoo!～」開催！

こんにちは！小樽笑店です！私達は、「小樽笑店に関わる全ての人を笑顔にする」を理念に、夏・冬2回の子供向け自主イベントを現在約30名で企画・運営しています。この度グリーンヒルプロジェクトにご支援をいただき、12月16日に「たるわランド2018冬～ようこそ！クリスマスZoo!～」というイベントを開催しました！当イベントでは、迷路や玉入れなどの企画を4つと日頃から取り組んでいるバルーンアートブースを用意した他、無料ドリンクを配布する休憩所や商大の他団体に発表していただくステージブースを企画しました。イベント開催に向けては、会場費やビラの印刷代等々多くの費用が必要となりますが、グリーンヒルプロジェクトで企画設営に必要なテーブルや画用紙などを支援していただき、より細かな部分にまで手を回せるようになりました。今回のイベントでは特に装飾に力を入れ、多くの方に喜んでもらえる華やかな会場づくりが出来ました。来場してくれた地域の方々だけでなく自分達も笑顔になることができた良いイベントになり、本当によかったと思います！



小樽笑店主催

夜桜ライトアップ



今年で4回目となります小樽商大の桜並木をライトアップする『夜桜ライトアップ』のイベントを今年も開催することとなりました。桜が満開になるこの季節に綺麗な桜の前で友達と写真を撮ったりして、いつもの見慣れた小樽商大とはひと味違った雰囲気の“夜桜”を堪能してみませんか？

また、夜桜のライトアップだけではなく私たちの運営するブースも用意する予定になっております。気の合う仲間と一緒に、授業が終わった後などに是非お立ち寄りください。

本イベントの日時や場所など、より詳しい情報は小樽笑店のSNS【Twitter (@otarushoten)、Facebook (@otarushoten)、アメーバブログ (<http://ameblo.jp/otarushoten>)】において随時更新していきますので、そちらも是非ご覧頂けると、さらにイベントをお楽しみ頂けるかと思います！

皆さんのお越しをお待ちしております！

学生を支援する2つの基金【事業報告】について

○教育振興基金について

皆様からご寄附をいただきました教育振興基金につきまして、平成30年度は以下の事業を実施しております。

なお、教育振興基金の事業実績額は、平成31年度の決算確定後にホームページ等でお知らせします。

■平成30年度

事業名	実施予定額
課外活動遠征補助金	350,000
ギャップイヤープログラム奨学金	1,500,000
グローバル人材育成のための TOEFL 受験料補助事業	450,000
学外学修推進のための地域連携ブリッジプログラム学修奨励金	570,000
事情科目参加者のための奨学金	3,000,000
海外危機管理サービスへの加入経費	1,000,000
教育用資料購入経費支援	260,000
計	7,130,000

○修学支援基金について

皆様からご寄附をいただきました修学支援基金につきまして、平成30年度は以下の事業に使用させていただきました（平成29年度より事業開始）。

■平成30年度（実績）

事業名		実施額
平成30年度前期分授業料免除特別枠事業	平成30年 8月決定分（対象者7名）	401,810
平成30年度後期分授業料免除特別枠事業	平成30年12月決定分（対象者6名）	334,840
学内チューデント・アシスタント特別枠事業		324,000 (実施予定額)
計		1,060,650

※修学支援基金による授業料免除特別枠事業は、各期における授業料免除申請者のうち、家計困窮度が基準を満たしているが成績要件により免除には至らなかった者を対象に審査を行い、各期の授業料の1/4の額を免除する事業です。

編集後記

本号では、学生をはじめ多くのみなさまに学園だよりの作成に協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

これからも様々な情報を発信していきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いたします。

(学生支援課)

小樽商大の新鮮な情報を毎日発信！

ブログ「商大くんがいく!!」



商大若手職員と学生がタッグを組んで作っている「商大くんがいく」ブログでは、商大生の活躍はもちろん、学内のさまざまな旬のトピックスがご覧になれます。

<http://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai-kun/>